

市民力かわら版

第17号

平成22年5月15日
編集/市民力かわら版編集委員会
発行/矢板市秘書政策室
電話：0287-43-1112
ファクス：0287-43-2292
Eメール：
yaita@city.yaita.tochigi.jp



桜の花も終わり、新緑の季節を迎えました。外へ出るには格好の季節。生まれ変わりとつある川崎城跡公園は、ぜひ行ってみたいスポットの一つです。川崎城跡公園再生市民会議のこれまでの道筋を振り返って鈴木幸市代表にお話を伺いました。



市民力を結集し川崎城跡に新たな光を！

見連えるような明るい公園に生まれ変わっています

●ポイントとはテーマの設定でした。市民会議の立ち上げから三年が経過し、市民、行政の皆さんにも非常に関心を持っていただいております。メンバーも団結力があがり、驚くほどまとまって作業を進める事ができています。振り返ってみると、この団結力が生まれたポイントがテーマの設定でした。設立一年目はほとんど基本計画の策定に費用をかけたのですが、テーマを会員の皆さんの中に作り上げていくのに三ヶ月、時間がかかっています。けれども、これが良き事

●現在の活動状況 施設の維持管理、散策道路の補修が主な内容です。とくに草刈りには多くの人手が必要ですが、昨年は草刈り機を持った人が70人も集まって壮観でした。当初、個人会員13名、2団体で始まった活動が、現在は個人80名、6団体とその輪が広がっています。合計で四百人以上が参加してくれています。おかげさまで、昼なお暗かった公園が、明るくなりました。降りが注ぐと、木の葉が混み合っています。昨年度の伐採が大仕事



見晴らしの良くなった本丸跡

で計画の検討に入り、裁す。広葉樹や花の咲く木を選び苗木を発注し、みんな植えていきます。昨年度も二の丸跡に少しですが力ワズザクラを植えました。今年の春はいくらか咲きました。川崎城跡のスギの保は崩落防止のための保安林としてあるため、一気には全部伐採するとはできません。桜などの広葉樹を植えて育てながら徐々に切っ

●いろいろな形の市民参加を 昨年のあんどん祭り、中央高校の野球部員30名が片づけを手伝ってくれました。練習のひとつとして参加して、くつろぎたので、ものすごく楽しかったです。市長は、とても感激していました。若い人が参加してくれ、若事川崎城跡のことが心に残るようになります。また、年に数回、記念日を作り、市民会議など参加できる市民にも参加してもらいたい。この市民会議の大切

秋のあんどん祭り



一月も見とれていました